

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル  
株式会社 ルネサス テクノロジ  
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-264A/JA	Rev.	第1版
題名	H8S/2168 グループ、H8S/2158 ハードウェア マニュアルの8ビットタイマ(TMR)の誤記訂正		情報分類	ドキュメント訂正追加等	
適用製品	H8S/2168, H8S/2167, H8S/2166, H8S/2158	対象ロット等	関連資料	H8S/2168 グループハードウェアマニュアル RJJ09B0072-0200H Rev.2.0 H8S/2158 ハードウェアマニュアル ADJ-602-250A 第2版	
		全ロット			

拝啓

貴社益々ご清栄の段お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
題記の件、H8S/2168 グループハードウェアマニュアル、H8S/2158 ハードウェアマニュアルの8ビットタイマ(TMR)  
の機能に関して誤記がございましたので、訂正のご連絡を致します。詳細は、以下をご参照願います。

敬具

< 誤記訂正内容 >

1 . H8S/2168 グループハードウェアマニュアル

「12章 8ビットタイマ(TMR)」のTMR\_X、TMR\_Yのカスケード接続機能の削除

(1) 12-1 ページ 「12.1 特長」 下から10行目

【変更前】

・2チャンネルのカスケード接続が可能

(TMR\_0、TMR\_1のカスケード接続)

TMR\_0を上位、TMR\_1を下位とする16ビットタイマとして動作可能です(16ビットカウントモード)。

TMR\_1はTMR\_0のコンペアマッチをカウント可能です(コンペアマッチカウントモード)。

(TMR\_Y、TMR\_Xのカスケード接続)

TMR\_Yを上位、TMR\_Xを下位とする16ビットタイマとして動作可能です(16ビットカウントモード)。

TMR\_XはTMR\_Yのコンペアマッチをカウント可能です(コンペアマッチカウントモード)。

【変更後】

- ・ TMR\_0、TMR\_1 のカスケード接続が可能  
(TMR\_Y、TMR\_X のカスケード接続はできません)  
TMR\_0 を上位、TMR\_1 を下位とする 16 ビットタイマとして動作可能です (16 ビットカウントモード)。  
TMR\_1 は TMR\_0 のコンペアマッチをカウント可能です (コンペアマッチカウントモード)

(2) 12-7 ページ 「表 12.2 TCNT に入力するクロックとカウント条件」

【変更前】

チャネル	TCR			STCR		説明
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_Y	1	0	0	-	-	TCNT_X のオーバフロー信号でカウント
TMR_X	1	0	0	-	-	TCNT_Y のコンペアマッチ A でカウント

【変更後】

チャネル	TCR			STCR		説明
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_Y	1	0	0	-	-	設定禁止
TMR_X	1	0	0	-	-	設定禁止

(3) 12-7 ページ 「表 12.2 TCNT に入力するクロックとカウント条件」の【注】

【変更前】

TMR\_0 のクロック入力を TCNT\_1 のオーバフロー信号とし、TMR\_1 のクロック入力を TCNT\_0 のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。同様に、TMR\_Y のクロック入力を TCNT\_X のオーバフロー信号とし、TMR\_X のクロック入力を TCNT\_Y のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。これらの設定は行わないでください。

【変更後】

TMR\_0 のクロック入力を TCNT\_1 のオーバフロー信号とし、TMR\_1 のクロック入力を TCNT\_0 のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。この設定は行わないでください。

(4) 12-19 ページ 「12.7 TMR\_Y、TMR\_X のカスケード接続」

- 「12.7 TMR\_Y、TMR\_X のカスケード接続」
- 「12.7.1 16 ビットカウントモード」
- 「12.7.2 コンペアマッチカウントモード」の動作説明を削除
- 「12.7.3 インพุットキャプチャ動作」を「12.7 インพุットキャプチャ動作」に変更

(5) 12-26 ページ 「12.9.6 カスケード接続時のモード設定」

“(または TCNT\_Y、TCNT\_X)” の文章を削除

2. H8S/2158 ハードウェアマニュアル

「13章 8ビットタイマ(TMR)」のTMR\_X、TMR\_Yのカスケード接続機能の削除

(1) 13-1 ページ 「13.1 特長」 下から10行目

【変更前】

- ・2チャンネルのカスケード接続が可能

(TMR\_0、TMR\_1のカスケード接続)

TMR\_0を上位、TMR\_1を下位とする16ビットタイマとして動作可能です(16ビットカウントモード)。

TMR\_1はTMR\_0のコンペアマッチをカウント可能です(コンペアマッチカウントモード)。

(TMR\_Y、TMR\_Xのカスケード接続)

TMR\_Yを上位、TMR\_Xを下位とする16ビットタイマとして動作可能です(16ビットカウントモード)。

TMR\_XはTMR\_Yのコンペアマッチをカウント可能です(コンペアマッチカウントモード)。

【変更後】

- ・TMR\_0、TMR\_1のカスケード接続が可能

(TMR\_Y、TMR\_Xのカスケード接続はできません)

TMR\_0を上位、TMR\_1を下位とする16ビットタイマとして動作可能です(16ビットカウントモード)。

TMR\_1はTMR\_0のコンペアマッチをカウント可能です(コンペアマッチカウントモード)。

(2) 13-7 ページ 「表 13.2 TCNT に入力するクロックとカウント条件」

【変更前】

チャンネル	TCR			STCR		説明
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_Y	1	0	0	-	-	TCNT_Xのオーバーフロー信号でカウント
TMR_X	1	0	0	-	-	TCNT_YのコンペアマッチAでカウント

【変更後】

チャンネル	TCR			STCR		説明
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_Y	1	0	0	-	-	設定禁止
TMR_X	1	0	0	-	-	設定禁止

(3) 13-7 ページ 「表 13.2 TCNT に入力するクロックとカウント条件」の【注】

【変更前】

TMR\_0のクロック入力をTCNT\_1のオーバーフロー信号とし、TMR\_1のクロック入力をTCNT\_0のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。同様に、TMR\_Yのクロック入力をTCNT\_Xのオーバーフロー信号とし、TMR\_Xのクロック入力をTCNT\_Yのコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。これらの設定は行わないでください。

【変更後】

TMR\_0のクロック入力をTCNT\_1のオーバーフロー信号とし、TMR\_1のクロック入力をTCNT\_0のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。この設定は行わないでください。

- (4) 13-18 ページ 「13.7 TMR\_Y、TMR\_X のカスケード接続」  
「13.7 TMR\_Y、TMR\_X のカスケード接続」, 「13.7.1 16 ビットカウントモード」, 「13.7.2 コンペアマッチ  
カウントモード」の動作説明を削除  
「13.7.3 インพุットキャプチャ動作」を「13.7 インพุットキャプチャ動作」に変更
- (5) 13-26 ページ 「13.9.6 カスケード接続時のモード設定」  
“(または TCNT\_Y、TCNT\_X)” の文章を削除

以上